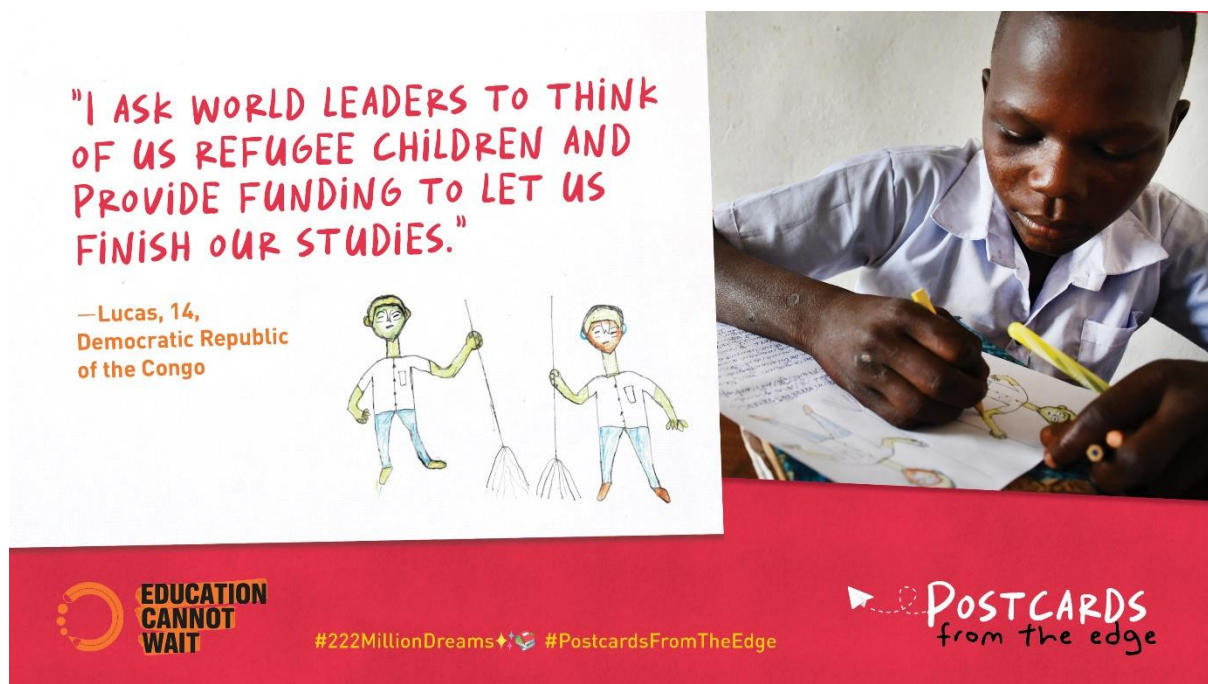


記事掲載：2023年2月

翻訳：2023年2月

危機状況下からのポストカード



©Education Cannot Wait

ECW が実施する革新的な子どもたちによるキャンペーンを通じて、世界中の危機的状況にある女の子や男の子たちが「[危機状況下からのポストカード](#)」を共有し、世界のリーダーや官民のドナーに対して、SDGs で示された 2030 年までにすべての人に教育を保障するという約束を守るよう呼びかけています。

これらのメッセージや絵は、世界中の紛争や長引く危機に巻き込まれた女の子や男の子が直面する課題が描かれ、触発的で示唆に富んでいます。

「これらは、感動的で説得力のある希望の物語であり、逆境に直面したときの驚異的なレジリエンスと、人生を変える教育の素晴らしい力を証明するものです。私たちは、世界の子どもの声に耳を傾けなければなりません。当然のことながら、子どもは教育を受ける人権を持っています。子どもの声は私たちの良識に語りかけます。子どもの声を聞く必要があります」と、ECW 事務局長ヤスミン・シェリフは述べています。

現在までに、世界で最も過酷な 20 カ国以上で、ECW が資金提供するプログラムによって支援された危機的状況にある女の子や男の子から、50 通を超える手紙、絵、ビデオが届いています。

ECW の戦略的パートナーである Educo、プラン・インターナショナル、セーブ・ザ・チルドレン、Street Child, ユネスコ, UNHCR, ユニセフ, ワールド・ビジョンなど多くの団体が、暴力、飢餓、貧困を終わらせ、次の世代に平和な世界を築く教育の特別な力を強調するために、こうした子どもたちの声を集め続けているのです。

コンゴ民主共和国で、中央アフリカ共和国からの難民である 14 歳のルカス*は、母親が殺され、自分の村が焼き払われたことを語ります。

ECW の資金により UNHCR が実施した複数年レジリエンスプログラムを通じて、ルカスは現在学校に戻り、いつか医者になることを夢見ています。

ルカスはポストカードの中で、世界の指導者たちに「私たち難民の子どものことを考えて、学業を終えるための資金を提供してください」と熱心に訴えています。

ルカスのような世界の 2 億 2200 万人の女の子と男の子は、紛争、気候変動、強制移住、その他の長期にわたる危機の複合的な影響によって、自身の未来を奪われているのです。特に女の子や障害のある子どもは危険にさらされています。

アフガニスタンの女の子と男の子からも数通のポストカードが届きました。女子教育を禁止し、女性の人権を否定する新しい規則ができたので、ウルズガン州のゼハブ*が教育を続けられるかどうかはわかりません。しかし、今のところ、ECW と Street Child の支援により、彼女はまだ非正式なコミュニティベースの学習プログラムに参加することができます。

ポストカードには、「私は教育を受け、有名なお医者さんになりたいのです。でも、アフガニスタンでは女の子が学校に通うことができないので、夢が叶わないかと思っています」と書かれています。「世界のリーダーたちに、私たちを助け、私たちが学び、未来をリードする機会を与えてくれるよう呼びかけます」と書かれました。

2 月 16～17 日にスイスのジュネーブで開催される ECW ハイレベル増資会合では、世界中のリーダーが集まり、あらゆる場所で、すべての子どもが質の高い教育を受けられるようにする公約を実行することが期待されています。

イベント期間中、ユースと教育の活動家が危機からのポストカードを読み上げ、世界で最も脆弱な子どもたちの声が聞き入れられるようにします。

ECW は、ドナー、財団、富裕層に対し、今後 4 年間で 15 億米ドルの資金を動員するよう呼びかけています。この資金により、ECW とその戦略的パートナーは、質の高い教育によってもたらされる安全、希望、機会を 2000 万人 の子どもと思春期の若者に届けることができます。

*プライバシー保護のため、名前を変えています。

【翻訳前の記事（英語）】

[Postcards From The Edge \(educationcannotwait.org\)](https://educationcannotwait.org)